

大和町地域福祉計画・ 地域福祉活動計画

概 要 版

人と人がつながり
明るく元気なまち
大和

～みんなで築こう地域の和～



平成 31 (2019) 年 3 月

大 和 町

社会福祉法人 大和町社会福祉協議会

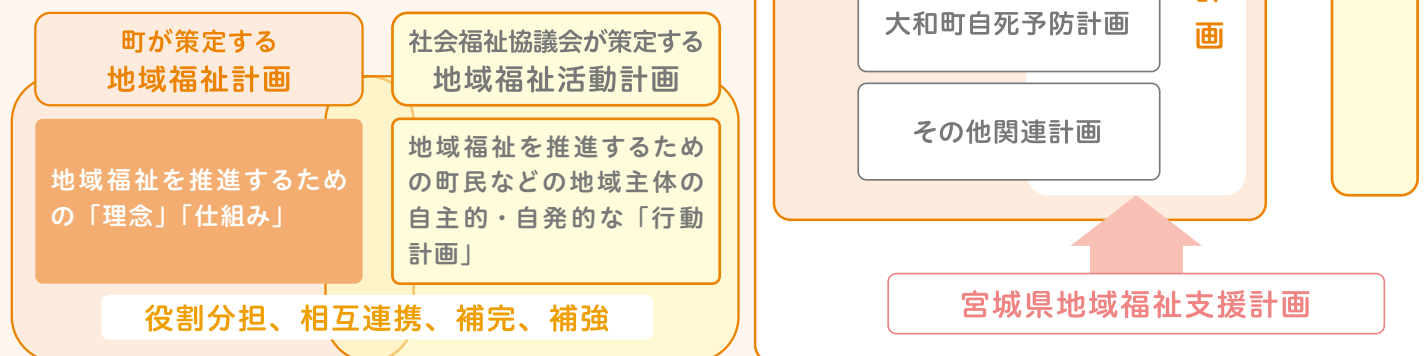
地域福祉 / 地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

●「地域福祉」とは

全ての町民が安心して生活が送れるように町民、福祉関係者、社会福祉協議会、行政など、ともに関わり合い、地域全体で力を合わせて課題解決へ取り組むことをいいます。

●計画の関係性

町の「総合計画」や各福祉計画との整合・連携を図るとともに、町の「地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定し、「地域共生社会の実現」を推進します。



地域福祉を進めるうえで重要な視点

1 「自助・互助・共助・公助」の取り組み

誰もが住み慣れた地域で暮らしていくためには行政だけでなく、地域の中での**住民同士の助け合いや支え合い（互助・共助）**を進めていく必要があります。

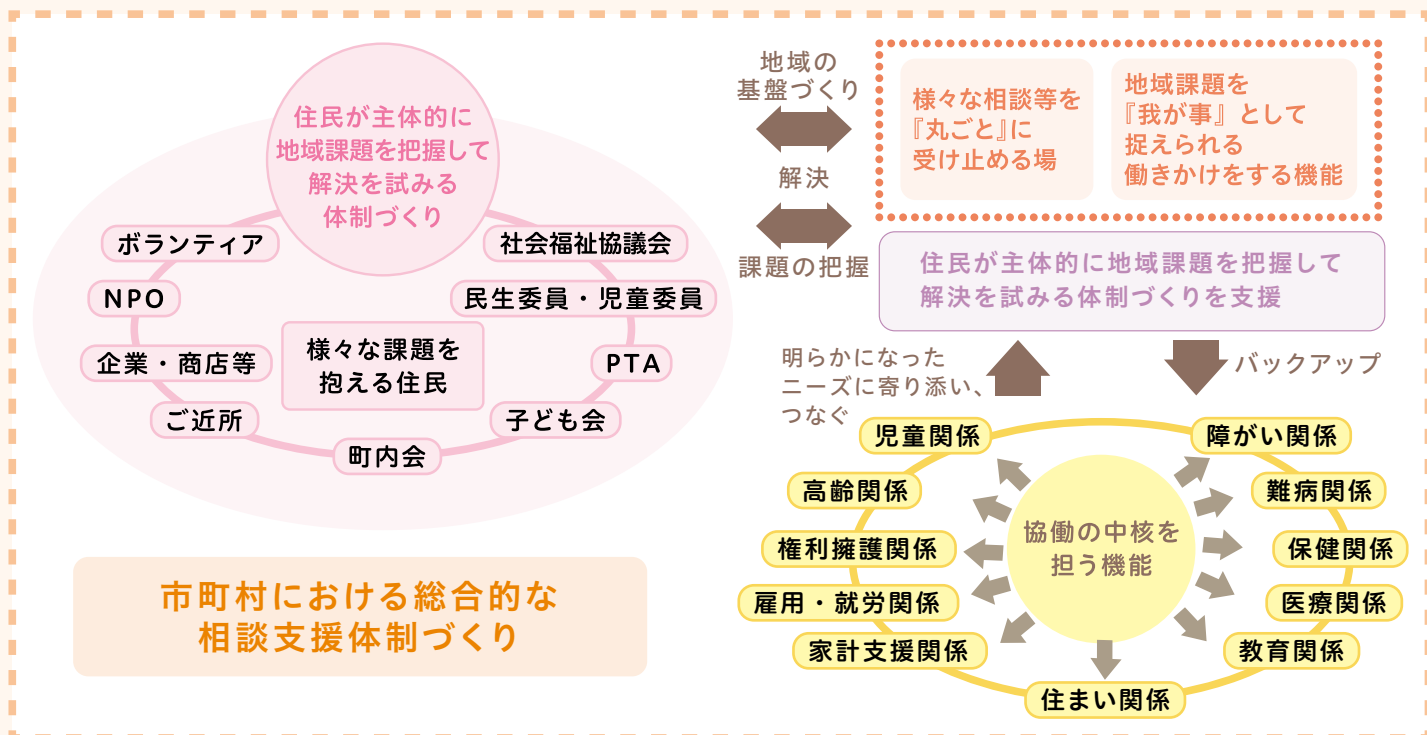


2 地域共生社会の実現

地域共生社会とは、住民や地域の多様な主体が『我が事』として地域に参画することで、人・資源が世代や分野を超えて、『丸ごと』つながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことをいいます。

3 包括的支援体制による地域づくりの強化

地域共生社会の実現に向けて、住民が地域課題を解決する力の強化及びそれを支援する取り組み、様々な相談等を丸ごと受け入れることができる場の整備、制度や分野等の枠組みを超えた総合的な相談支援体制づくりが求められています。



地域福祉圏域の設定

地区の状況に応じた福祉活動を展開するため『地域福祉圏域』を設定し、支援が必要な人を重層的に支えることができる体制づくりに取り組みます。



地域住民

地域の中で支援が必要な人
(子ども・高齢者・障がい者)

第1層： 隣近所・班

第2層： 行政区

第3層： 地区

第4層： 包括的支援体制圏域

第5層： 大和町

第6層： 黒川圏域・県

第1層 隣近所・班

●見守りや声かけによる身近な助け合いなど

第2層 行政区：62地区

●サロン活動、防犯・防災活動、町政情報の共有など

第3層 地区：6地区（吉岡／宮床・小野／吉田／鶴巣／落合／もみじヶ丘・杜の丘）

●各種行事による交流・社会参加活動など

第4層 包括的支援体制圏域：吉岡・吉田／宮床・小野・もみじヶ丘・杜の丘／鶴巣・落合

●包括的な支援体制の構築（コミュニティ同士の連携体制の充実、関係団体との連絡調整、地域課題の共有、相談窓口の設置など）

第5層 大和町

●相談体制の充実、情報提供、サービス調整、関係機関との連絡調整など、地域福祉全般のとりまとめ

第6層 黒川圏域・宮城県

●町内だけでは解決できない課題等への対応、周辺自治体との連携など

※地区……………旧町村及び新興住宅地の地区割りを基本とした地域活動の圏域

※包括的支援体制…高齢・障がい・子育てなど分野に限らず、包括的に支援する体制

大和町の現状 (2015年と2018年の3月31日時点)

町の中心部や新しくできた住宅街では人口が増え、それ以外の地区では人口が減り、地域差がみられます。

総人口・総世帯数は増えていますが、高齢者単身世帯の増加や核家族化により、一世帯ごとの人数が減っています。

総人口・人口構成

総世帯数・一世帯当たりの人員

2015年	2018年
総人口 : 27,747 人	総人口 : 28,176 人
0-14歳 : 4,314 人	0-14歳 : 4,360 人
15-64歳 : 17,749 人	15-64歳 : 17,700 人
65歳以上 : 5,684 人	65歳以上 : 6,116 人

資料：住民基本台帳

2015年	2018年
世帯 : 10,744 世帯	世帯 : 11,679 世帯
世帯人員 : 2.58 人	世帯人員 : 2.41 人

資料：住民基本台帳

75～79歳で要支援・要介護の認定を受ける方が増えています。

障がいのある方（特に精神障がいのある方）が増えています。

生活保護を受けている方や世帯が増えています。

要支援・要介護認定者数

障がい者手帳所持者数

生活保護

2015年	2018年
要支援 : 202 人	要支援 : 221 人
要介護 : 902 人	要介護 : 890 人

資料：介護保険事業状況報告

2015年	2018年
身体 : 864 人	身体 : 870 人
療育 : 234 人	療育 : 249 人
精神 : 102 人	精神 : 146 人

資料：保健福祉課

2015年	2018年
世帯 : 159 人	世帯 : 173 世帯
人員 : 222 人	人員 : 235 人

資料：宮城県仙台保健福祉事務所

大和町の地域福祉を取り巻く現状と課題のまとめ

課題1 福祉意識の醸成による地域力の向上

『地域共生社会』の実現に向けて地域力の強化が求められており、今後「地域福祉」の周知と福祉意識の啓発が重要となっています。

課題2 身近な生活課題の増加に対応する地域の課題解決力の強化

誰もが地域課題を『我が事』として捉え、課題解決に向けて、様々な世代が積極的に地域活動へ参加できるよう、人材育成が必要となっています。

課題3 平常時から災害時まで安全・安心な地域づくり

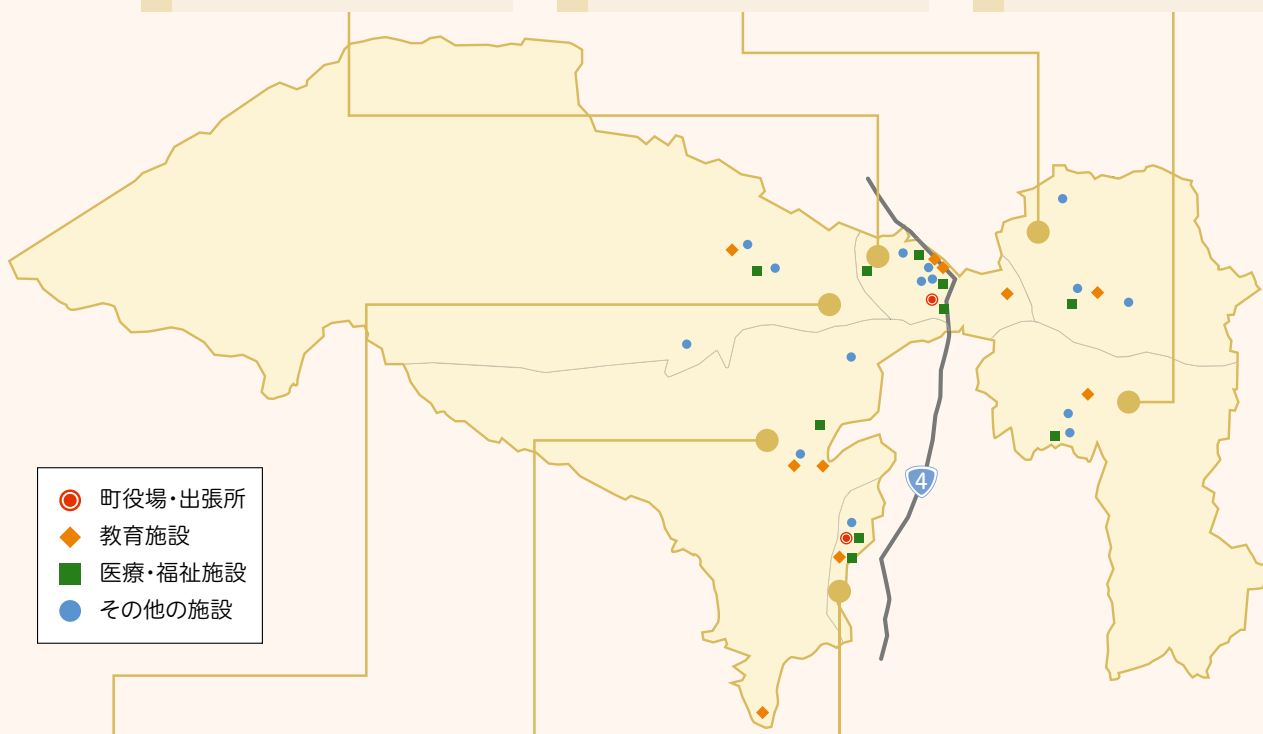
福祉サービスの需要（平常時）と自然災害が増加（災害時）しており、平常時や災害時を問わず、地域で安全・安心に暮らせる体制づくりが重要となっています。

課題4 包括的な支援体制の構築

複合的な問題を抱え、複雑化している相談件数が増加しており、複雑化している課題を『丸ごと』受け止める包括的な支援体制の構築が必要となっています。

各地区の現状

吉岡地区		落合地区		鶴巣地区	
総人口	13,159 人	総人口	1,599 人	総人口	2,131 人
年少人口 (0～14歳)	2,012 人	年少人口 (0～14歳)	138 人	年少人口 (0～14歳)	174 人
生産年齢人口 (15～64歳)	8,847 人	生産年齢人口 (15～64歳)	862 人	生産年齢人口 (15～64歳)	1,158 人
老年人口 (65歳以上)	2,300 人	老年人口 (65歳以上)	599 人	老年人口 (65歳以上)	799 人
前期高齢者数 (65～74歳)	1,126 人	前期高齢者数 (65～74歳)	282 人	前期高齢者数 (65～74歳)	368 人
後期高齢者数 (75歳以上)	1,174 人	後期高齢者数 (75歳以上)	317 人	後期高齢者数 (75歳以上)	431 人
高齢化率	17.5%	高齢化率	37.5%	高齢化率	37.5%



吉田地区		宮床・小野地区		もみじヶ丘・杜の丘地区	
総人口	1,879 人	総人口	1,720 人	総人口	7,475 人
年少人口 (0～14歳)	135 人	年少人口 (0～14歳)	165 人	年少人口 (0～14歳)	1,741 人
生産年齢人口 (15～64歳)	988 人	生産年齢人口 (15～64歳)	940 人	生産年齢人口 (15～64歳)	4,969 人
老年人口 (65歳以上)	756 人	老年人口 (65歳以上)	615 人	老年人口 (65歳以上)	765 人
前期高齢者数 (65～74歳)	343 人	前期高齢者数 (65～74歳)	290 人	前期高齢者数 (65～74歳)	472 人
後期高齢者数 (75歳以上)	413 人	後期高齢者数 (75歳以上)	325 人	後期高齢者数 (75歳以上)	293 人
高齢化率	40.2%	高齢化率	35.8%	高齢化率	10.2%

資料：住民基本台帳（2018年3月31日現在）

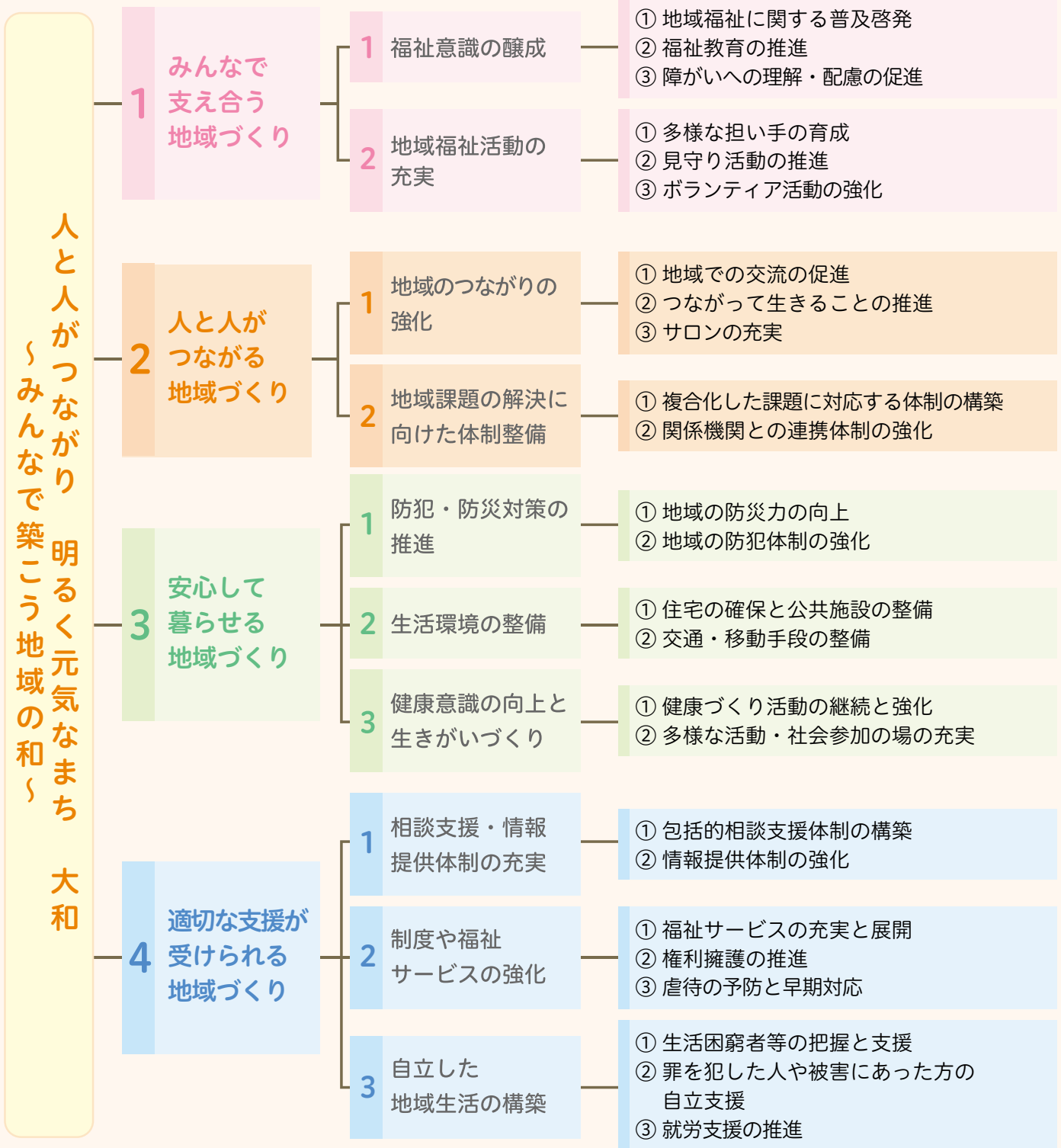
大和町の「地域福祉」における今後の方向性

基本理念

基本目標

施策の方向

施策



基本理念の由来

まちづくり推進のキーワードである「協働」・「人づくり」を“人と人がつながり”という言葉に込めました。また町の将来像である「活力と笑顔に満ちたまちをめざして」を“明るく元気なまち”に込め、地域課題を誰もが『我が事』として考え、地域全体で解決に向かって動くという思いを、“みんなで築こう地域の和”という言葉に込めました。

みんなで支え合う地域づくりに向けて、 できることから始めてみませんか！

「福祉」とは、一部の困っている人に対するサービスや支援だけでなく、『**全ての人に等しくもたらされるべき「しあわせ」**』のことであり、誰もが安心して暮らせる幸せな生活を推進していくためには、地域での**あいさつや声かけ、ちょっとした気配り**が重要となります。

幼児期（保護者）

- あいさつの仕方を教えましょう！
- 地域の人と交流しましょう！
- 地域のイベントに参加しましょう！
- 家のお手伝いをしたり、困っている人を助けたら、褒めましょう！



学童期・思春期

- 友達と仲良くしましょう！
- いじめや差別はやめましょう！
- 道徳教育・福祉教育で学んだことを実践しましょう！
- 自分でもできるボランティアがあったら参加しましょう！

青年期・壮年期

- 隣近所で協力し合って助け合いましょう！
- 町内会に加入しましょう！
- 地域の一員として、地域活動に参加しましょう！
- 自分でもできるボランティアがあったら参加しましょう！



高齢期

- 隣近所で協力し合って助け合いましょう！
- 地域活動に参加しましょう！
- ボランティア活動に参加しましょう！
- サロン活動や趣味活動に参加しましょう！
- 地域の伝統や文化を次世代に伝承しましょう！



成果目標一覧

基本目標	項目(町民アンケート調査結果より設定)	現状値 (2019年)	目標値 (2028年)
1 みんなで支え合う 地域づくり	地域福祉の内容を知っている町民の割合	11.8%	20.0%
	地域でおきる様々な生活課題に対し、町民相互の自主的な助け合い・支え合いの関係が必要だと思う町民の割合	86.9%	95.0%
	地域で孤立化しがちな人がいる場合に声かけやあいさつをする町民の割合	50.8%	60.0%
2 人と人がつながる 地域づくり	普段の隣近所の人との付き合いがある町民の割合	90.7%	95.0%
	大和町社会福祉協議会を知っている町民の割合	13.8%	25.0%
3 安心して暮らせる 地域づくり	日頃から地域の防災訓練に参加している町民の割合	23.4%	35.0%
	住んでいる地域での問題や課題として「道路や公園、空き地にごみが増えた」と感じている町民の割合	11.5%	減少
	『健康寿命の延伸』 (データから見たみやぎの健康より設定) ※参考：2015 年度平均寿命 男性 79.50 歳 女性 87.10 歳	男性 79.47歳 (2015 年) 女性 83.46歳 (2015年)	平均寿命を上回る 健康寿命の増加
	地域の行事や活動に参加する町民の割合	34.4%	45.0%
4 適切な支援が受け られる地域づくり	不安や悩みについて相談先がある町民の割合	89.2%	95.0%
	町の福祉サービスや福祉施設を知っている町民の割合	34.5%	45.0%
	生活困窮者を地域で支えることが必要だと感じている町民の割合	56.5%	70.0%

計画推進体制と評価

- 計画内容の広報・啓発及び町民への周知徹底に努めます。
- 社会福祉協議会の発展強化を進めます。
- 関係機関との連携・協働を進めます。
- P D C Aサイクルに基づいた計画の進捗管理を行います。

大和町地域福祉計画・地域福祉活動計画【概要版】

発行年月 平成31(2019)年3月

発行 大和町(保健福祉課)

〒981-3680

宮城県黒川郡大和町吉岡

まほろば一丁目1番地の1

TEL:022-345-7221 FAX:022-345-7240

社会福祉法人 大和町社会福祉協議会

〒981-3621

宮城県黒川郡大和町吉岡字館下88番地

大和町保健福祉総合センター(ひだまりの丘)内

TEL:022-345-2156 FAX:022-345-7280